

けんぶち ふれあいネットワーク 社協だより

2016年2月

No. 85

発行

社会福祉法人
剣淵町社会福祉協議会

〒098-0338 上川郡剣淵町仲町28番1号 ふれあい健康センター内 Tel0165-34-3922



福笑いで大盛り上がり！

1月の元町サロンは、盛りだくさんの催しがありました。特に「福笑い」は、参加者のパフォーマンスで笑いの渦に包まれました。

このあとは、甘酒でほっと一息……。

H28.1.26 元町自治会館で開催

主な内容

- ・会長年頭あいさつ
- ・ボランティアア研修・交流会で理解を深める・・・
- ・いきいきルーム情報
- ・ふれあい昼食会スナップ
- ・赤い羽根共同募金結果報告
- ・歳末たすけあい募金結果報告
- ・小地域ネットワーク活動



会長年頭あいさつ

…地域や住民が主体となって 高齢者を支えあう地域社会づくり…

社会福祉法人 剣淵町社会福祉協議会 会長 齊藤 實

新しい年、平成28年をご家族お揃いで迎えられましたこと、心からお喜びを申し上げます。また、日頃から本会の運営と事業推進にご理解とご協力、ご支援をいただいておりますことに対しましてこの場をおかりして感謝とお礼を申し上げます。

本会は、町民の皆様の社会福祉に寄せる熱い思いと期待、助け合い精神によって支えられ、成り立っています。これからも、こうした皆様の負託に応えられるよう、温かく優しい地域社会づくりを目指したいと思います。

いま、日本は、世界一の長寿国となり、超高齢社会に突入しました。多くの高齢者の皆さんは、「終焉を迎えるその時まで、住み慣れた地域で医療や介護などのサービスを受けながらも、健康で心豊かに安心・安全に暮らしたい」というのが願いなのではないでしょうか。

少子高齢化、核家族化、人口減少社会、さらに刻々と押し迫る大介護時代という厳しい社会背景とその現実、この剣淵町にも押し寄せています。こうした社会背景の中で今後も高齢者人口や総人口に占める高齢者の割合は増え続ける見込みです。こうした中、介護を必要とする人が急増し、現在の福祉サービスの仕組みのままでは支えきれなくなることが想定されます。このため国は、平成26年6月、介護保険制度を改正し、“施設より自宅での暮らし”を勧め、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援の5つサービスを一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の実現を目指すことになりました。これを受けて各市町村では、この新ケアシステムの構築と段階的実施のための仕組みづくりの準備が進められています。この取り組みの最大の特徴は、『高齢者が生活している地域で地域住民が主体となって高齢者を支え、日常生活を支援する』というものです。

現在、本会が実施している訪問介護、居宅介護支援、予防訪問介護は、町の地域福祉の重要課題ですが、新ケアシステムに基づきこれらの事業がサービスの形を変えることになったとしても、本会のこれまでの実績は各種サービスの充実、発展に大きく貢献できるものと考えています。

これからの高齢化社会では、私たちの誰もが認知症とともに生きることになる可能性があり、また、その介護者として関わっていく可能性もあります。本会は、地域福祉の担い手として、高齢になっても自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、支え合いのできる地域社会づくりのために役職員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。町民の皆様の一層のご理解とご協力、ご支援をお願い申し上げます。年頭の挨拶といたします。

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---------------------|--------------------------------|------------------|-----------------------|---------------------|----------------------|-------------------|-----------------------|--------------------------|----------------|------------------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 梅基文子
(民生児童委員協議会 副会長) | 島山信
(剣淵北の杜舎 施設長) | 杉澤治
(身体障害者福祉協会 監事)
(保護司) | 小田誠二
(商工会 推薦) | 松ヶ平昭治
(赤十字奉仕団 委員長) | 福川シゲ子
(商工女性部 部長) | 二階堂敏子
(自治会連合会 推薦) | 池田伊三男
(北斗会 理事) | 渡辺一美
(老人クラブ連合会 会長) | 鈴木利明
(JAN北びびき 副組合長理事) | 後藤強
(学識経験者) | 柴田泰成
(民生児童委員協議会 会長) | 西崎則義
(学識経験者) | 齊藤 實
(学識経験者) | 剣淵町社会福祉協議会 役員 |
|-------------------------|---------------------|--------------------------------|------------------|-----------------------|---------------------|----------------------|-------------------|-----------------------|--------------------------|----------------|------------------------|-----------------|-----------------|---------------|

～第2回剣淵町ボランティア研修・交流会～

● ● ● 理解を深め交流で仲間づくり ● ● ●

ボランティア主体で！

ボランティア運営委員会（鹿野良孝委員長、委員八名）が企画・運営した「第2回剣淵町ボランティア研修・交流会」が十月二十九日、（木）午後からふれあい健康センターふれあいホールで一般参加者・施設関係者・町関係者等三九名が参加されて開催されました。



私たちの活動紹介をされる皆さん

これは、ボランティアや地域福祉にかかわる方々の連携を促進し、交流や情報交換・研修をとおして、仲間づくりやボランティア活動が活発に行われる環境に取組もうというもので、昨年に取り続き二回目の開催となるもの。

理解を深めた私たちのボランティア紹介

今回は、まず町内でどのようなボランティア活動が行われているのかを個人ボランティア、



外出支援等の説明に聴き入る参加者

中央女性会、赤十字奉仕団、JAほほえみグループ、在宅介護家族の会、おはなし会等、ぶつくとんでんサロンの皆さんから発表いただきました。これに対して、「身近で実践的な内容ですごく分かりやすく理解できました」という感想がよせられました。この後、高齢者福祉施設におけるボランティア「外出・買物支援等の受入れと留意事項について」ひらなみ荘の畠山支援課長からお話がありました。二つの発表とも資料をレジュメにしてもらい感動した。「ひらなみ荘におけるボランティア受入れ状況等をみせてもらい、多くの方が関わっていることにおどろいた」「今後、社協と連携してコーディネートできるような話になればよいと思う」等の感想がありました。ボランティアセンターからは、「ボランティアの登録とボランティア保険について」説明があり、これを契機にボランティアの登録をしていただいた



最後は、手遊びでリフレッシュ！

方もおられました。途中の「コーヒートレイク」ではコーヒータ等とショートケーキをいただきながら談笑をしましたが、「この時間はとてもよ

いきいきルーム「クリスマス・忘年会」で利用者ボランティアさんがわきあいあいと交流

在宅高齢者を一日健康センターに来ていただき、利用者やボランティアの方と交流を深めることで日常生活を豊かにしていただくと共に、介護家族の負担を軽減することを目的として「いきいきルーム」を開設しています。一月一六日には、恒例の「クリスマス・忘年会」を開催し、利用者・ボランティア・ヘルパーの皆さんが、おいしい料理をいただきながら、おしゃべりやゲーム等を楽しみました。



おいしい料理に舌鼓をうちました

かったが、もう少し時間が長い方が良かった」という声もありました。後半は、抽選（景品付き）で今日の感想を述べていただき、最後には、佐藤章子さんの指導で、お絵かきしましよ！、手遊び等を楽しみながら身体をほぐしました。鹿野委員長からは、「今後も背伸びせず身近な取組を中心にボランティアに関する講演や活動の参考になるものを検討していきたい。ボランティアを増やすには特効薬はないが身近な人に声を掛け色々な勉強会や行事に参加していただきたい」というコメントがありました。



↑ おもてなしいただいた剣高1年生28名と一緒に！

..... 剣淵高校で「ふれあい昼食会」..... 給食とともに元気もいただきました!!

「やっぱりみんなと食べるとおいしいね。」参加者の言葉に「また、来年も来てくださいね。」と生徒との会話がはずみます。2月4日、剣淵高校体育館で70歳以上独居者の方等26名が参加して「ふれあい昼食会」が開催されました。生徒の皆さんが用意してくれたレクレーション(写真)では、久しぶりに身体を動かし楽しいひとときを過ごし、若い高校生とのふれあいで、給食とともに元気もいただきました。剣淵高校1年生の皆さん、本当にありがとうございました。



↑ 控室で利用者に話しかける生徒の皆さん



↑ 生徒の皆さんとおしゃべりしながら楽しくいただきました



↑ 配膳は、生徒の皆さんで手際よくしていただきました



↑ 熱が入り思わず椅子から立ちあがった風船バレー



↑ 「うわ〜うれしい！」きれいな花のプレゼントに感激です



↑ 給食メニューは「黒米ごはん、鮭のホイル焼き、切干大根煮等」



↑ ペットボトルボーリングでは、チームで得点を競いました

皆様のあたたかいご協力に感謝いたします 平成27年度赤い羽根共同募金結果報告



剣淵小学校児童会を代表して高橋伸太郎くんから「困っている人のために、役立ててください。」と斉藤会長に学校募金が手渡されました。

「じぶんの町を 良くするしくみ」

昨年10月から始めました「赤い羽根共同募金運動」に心温まる善意の募金を寄せられました町民の皆様にご心から感謝とお礼を申し上げます。

赤い羽根共同募金は、「自分の町を良くするしくみ」といわれています。それは、寄せられた募金が北海道共同募金会を通じて様々な福祉活動や被災地支援等に役立てられる一方、そのほとんどが配分金として地元に戻され、町民の皆様の様々な活動助成や地域福祉活動に活用されているからです。

共同募金の内訳

区分	募金額	内容
戸別募金	309,600円	自治会を通じて1戸@300円の募金にご協力いただきました。
大口募金	558,000円	個人と企業や商店を対象とする篤志募金です。
学校募金	11,018円	小学校・高校の児童・生徒さんからの募金です。
職域募金	93,777円	企業、団体、官公庁等の従業員の皆さんからの募金です。
募金箱他	2,037円	役場、絵本の館、農協、商工会、郵便局、ひらなみ荘の募金箱
自動販売機	67,346円	赤い羽根自動販売機利用の配分金として受けております。
合計	1,041,778円	

共同募金の使い途

○ 全道各地の福祉活動に助成	181,000円		
* 道内各地の施設の運営や在宅福祉活動の推進、ボランティア活動推進のほか、災害時には被災地支援・ボランティアセンター設置・運営等にも使われています。			
○ 町内の福祉活動に使用	860,778円		
● 老人福祉に助成（敬老会助成）	362,778円	● 生活支援援助（在宅介護家族の会助成）	42,000円
● 児童・青少年育成（子供会助成）	42,000円	● 総合福祉助成（広報誌発刊）	210,000円
● 体験・交流等（ふれあい広場助成）	130,000円	● 募金経費	74,000円

ご支援・ご協力ありがとうございました 平成27年度歳末たすけあい募金結果報告

12月からご協力をお願いしておりました「歳末たすけあい募金」につきましては、町民の皆様のあたたかいご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。心より厚くお礼申し上げます。

歳末たすけあい募金は、新たな年を迎えるにあたり、全町民が明るく安心して年を越せるように、住民相互がたすけあう募金です。寄せられた募金は、民生児童委員協議会の意見をもとに、共同募金委員会で慎重に助成先を審議し、年末に助成金としてお届けをいたしました。



歳末たすけあい募金結果

募金協力団体等	募金額
剣淵町議会議員協議会	20,000円
剣淵町農業委員会委員	10,000円
剣淵町教育委員会委員	4,000円
剣淵町自治会連合会	11,000円
剣淵町民生児童委員協議会	13,000円
北ひびき剣淵基幹支所役員親睦会	7,000円
北ひびき農協剣淵基幹支所職員	15,000円
剣淵商工会役職員	15,000円
剣淵ライオンズクラブ	36,276円
剣淵町老人クラブ連合会	15,360円
剣淵町赤十字奉仕団	12,600円
剣淵郵便局職員	1,200円
北星信用金庫剣淵支店職員	3,594円
(株)レークサイド桜岡職員	2,376円
剣淵北斗会役員	11,000円
剣淵西原学園職員	35,000円
剣淵北の杜舎職員	30,000円
剣淵ひらなみ荘職員	30,000円
グループホームしおり	17,500円
剣淵小学校教職員	2,148円
剣淵中学校教職員	1,325円
剣淵高等学校教職員	269円
剣淵町役場職員	73,558円
剣淵町高齢者事業団役職員	12,000円
剣淵町社会福祉協議会役員	14,000円
剣淵町社会福祉協議会職員	10,000円
戸別募金 (@200円×1,031戸)	206,200円
前年度繰越金	7円
合計	609,413円

歳末たすけあい募金の助成先

区分	件数	金額
独居老人世帯	3世帯	48,000円
母子世帯	5世帯	130,000円
低所得者世帯	1世帯	16,000円
地域生活障害者	33件	187,000円
福祉施設	4施設	170,000円
地域福祉活動支援	1事業	58,400円
計		609,400円
助成経費・翌年度繰越		13円

「一人の不幸も見逃さない」を合言葉に
小地域ネットワーク事業を担う福祉委員連絡会議を開催

「一人の不幸も見逃さない住みよい地域社会づくり」を目指して、平成二八年福祉委員連絡会議を一月二八日に健康センターで開催しました。

福祉委員は、各自治会から一名の推薦を受け、社会福祉協議会が委嘱して各自治会を実施主体として「小地域ネットワーク事業」を実施していただくものです。

小地域ネットワーク活動とは・・・

少子高齢化や過疎化現象により一人暮らしや老人世帯が多くなり、加えて近隣関係が希薄化していることから孤独死や災害時の応急体制な



安否確認やサロン開設支援等についても協議

☆H28福祉委員ご紹介 (敬称略)

藤本町	東町	西原町	西岡町	南桜町	旭町	屯田町	元町	仲町	緑町	西町
佐々木秀光	中村祐一郎	佐藤朋則	福川諭	安田盛也	菊地徹也	石川功	金子子	山田博子	岡康照	久保章子

ど、行政だけでは解決できない地域の福祉問題となっています。

そこで、これらを地域の課題として、地域全体が連携してお互いに助け合い、子供から高齢者までが住み慣れた地域で「安心して安全に暮らせる地域社会づくり」を目指す活動です。

この活動には、「ニーズを発見する機能」と「助け合いをする機能」があり、具体的には、訪問・声かけで安否確認等を行うことや、ふれあいサロンの開催、自治会交流会等への招待などの活動が期待されます。

地域の福祉に関する問題やご相談あるいは情報提供については、福祉委員さんにお問い合わせいたします。

コーラ製品いただきました

今年も北海道コカコーラボトリング(株)様よりクリスマスプレゼントとして清涼飲料水等二二箱、二〇四本をいただきました。

さっそく、町内の福祉施設等に配布し、クリスマス会等で使っていただき、大変喜ばれました。

ご寄贈ありがとうございました。



12.15 コーラ等を頂きました

あなたの地域でも「ふれあいサロン」をつくりませんか!

○現在、ふれあいサロンは、5地区で開設されています。

○ご相談は、社会福祉協議会か地域包括支援センターへ。

ーいきいきルームー
ボランティアを募集しています

社協では、毎週水曜日、午前9時～午後3時までふれあい健康センターで「いきいきルーム」(託老サービスの愛称)を開設しています。

ホームヘルパーと共に利用者のお相手をしてくれるボランティアさんを募集しています。(通常、午前と午後のいずれか。)ぜひ、ご協力お申込みくださるようお願いいたします。

社会福祉協議会 ☎ 0165-34-3922

つえ・アイスピック 購入の助成

高齢者や身体が不自由な方に、「つえ」と「アイスピック(冬期、つえの先につける滑り止め)」の購入の助成を行います。

利用を希望される方には、半額助成で現物をお渡しいたします。自己負担金をご持参の上、社協事務局までお越しください。

■自己負担額

*つえ・・・七〇〇円
*アイスピック・・・五〇〇円